

次期改定へ歯科署名開始

負担軽減で誰もが受診できるように

6月の国会へ目標3万筆

「保険で良い歯科」請願署名
2024年の診療報酬改定へ向け、協会は「保険で良い歯科医療」の実現を目指す。請願署名をスタートする。請願項目は、▽窓口負担の軽減▽保険のきく範囲の拡大▽歯科医療費の増額―の3つ。6月の通常国会に協会から3万筆を届けようと呼び掛けている。

歯・口腔の健康と全身の健康との密接な関係が明らかとなっており、新型コロナウイルス流行後は、感染予防にとっても歯科受診が重要であることが注目され、歯科医療の社会的重要性が高まっている。

一方で、長引くコロナ禍や物価高騰による経済的負担増、度重なる健康保険料の引き上げなどを背景に、経済的理由での未受診、歯科治療の受診控えや治療中断による、お口の健康悪化と崩壊ともいえる事態が広がっている。

「お金が心配で次の受診は来月にしたい」「入れ歯のつくり直しを延期したい」など経済的理由による受診控えや中断が

ご協力をお願いします

今号に同封



保険で良い歯科医療の実現を求める署名用紙

協会は会内目標の3万筆を実現しようと、署名用紙と請願内容を解説したリーフを今号に同封。会員に協力をお願いしている。

署名は大阪で4万筆（協会3万筆）目標に、6月の通常国会への提出を山場に集約。保団連の国会要請行動で大阪選出議員を通じて提出する。731まで。

2年に一度の三師届

1月16日までに保健所へ

歯科医師・衛生士・技師らは2年に一度、12月31日現在の業務従事状況等を届け出る「三師届」と「業務従事者届」を、国や都道府県へ届けることが義務付けられており、2022年は届出年にあたる。各届出票は、23年1月16日（月）までに住所地の保健所に提出する。就労していない場合も届け出は必要となる。

オンラインで届出が可能に
22年度から、勤務する方の届出に限りインターネットによるオンライン届出が可能になる（17日稼働予定）。オンライン

届出の詳細
届け出る場合は、厚労省HP（QRコード）「オンライン届出」を参照。なお、紙の届出用紙は最寄りの保健所またはQRコード「届出の詳細」から入手できる。



オンライン届出



届出の詳細

国会行動

矛盾深まる強引な推進

厚労省・デジタル庁へ要請

マイナ保険証義務化とオンライン資格確認義務化の問題をめぐり、大阪歯科・歯科協会は8日、義務化の撤回等を求めて厚生労働省とデジタル庁に要請した。懇談は兵庫協会が呼びかけ、田村智子参院議員（共産）の仲介で実現した。



要請書を手渡す小澤氏（中）と吉田氏（右）

マイナ保険証義務化の問題で小澤理事長は、マイナンバー法がカードの取得を任意と定めている事を示し、「マイナ保険証」によらずとも、保険

給付できるといふことで間違いはないかと質した。厚労省は「カードを持っていないと、保険診療を受ける権利はある」としつつも、現行保険証を廃止することは既定の方針であるとして、取得していない場合に資格確認する方法を検討するとした。

その他、オンライン資格確認で、出生児にタイムラグが生じる問題や資格確認の

要請には、厚労省から保険局医療介護連携政策課の松本、渡辺各氏、自治行政局住民制度課の松田氏、デジタル庁からは

今井氏が対応した。協会から小澤力理事長、吉田裕志副理事長らが出席した。同日、宮本岳志衆院議員

とがあってはならない」と語った。森山議員もオンライン資格確認の義務化への反対を表明した。厚労省要請では、この間相次いでいるカードリーダーの動作トラブルへの対応を中心に厚労省の見解を質した。システムトラブルや不具合が解消されるまで、23年4月実施の義務化を延期することなどを求めた。

地元選出議員と懇談

義務化反対で一致

協会は1日、医療機関へのオンライン資格確認の義務化撤回を求めて、大阪選出の国会議員に要請し、吉田裕志副理事長らが参加した。同日、オンライン資格確認義務化

で動作トラブルが発生している問題について厚労省と意見交換した。議員要請では、宮本岳志（共産）、森山浩行（立憲）両衆院議員が面談に応じた。宮本議員は健康保険証とマイナンバーカードを一体化させる政府の方針は、番号法の

申請主義に反し、マイナンバーカード取得の事実上の強制になると指摘。また、高齢の医師が運営する診療所ではオンライン資格確認が義務化されれば閉院せざるを得ないとして、「マイナンバーカードを作らない国民は医療から排除されることにもなりかねない。オンライン資格確認の設備の設置が過度な負担になり地域医療を壊すようなこと

歯界

サッカーワールドカップで世間は盛り上がったが、

Jリーグのテレビ放映が始まるまで、サッカーはマイナーなスポーツだった。当時、サンテレビ放映の「ダイヤモンドサッカー」が海外のサッカー事情を知る唯一の情報源だった。海外のスーパースター達による華麗なテクニックの饗宴や、サポーターの熱狂と興奮。世界のサッカー文化のスケールの大きさに圧倒されたものだ。その頃から思えば、日本がワールドカップに連続出場出来るレベルになったこと自体、大変感慨深い。

求人情報の更新

協会ホームページの求人情報を12月15日に更新しました。URL <http://osk-hok.org/job/>